

## 平成 26 年度 第 2 回 東京都北区環境審議会議事要旨

日時： 平成 26 年 8 月 7 日（木） 14:00～15:45

場所： 北区役所 第一庁舎 4 階 第一委員会室

### 【出席者】

< 委 員 >

丸田 頼一 会長	卷出 義紘 委員	柳井 重人 委員
吉川 正人 委員	秋山 香織 委員	広野 要 委員
小山 文大 委員	原 芳子 委員	齋藤 邦彦 委員
尾花 秀雄 委員	戸枝 大幸 委員	花見 隆 委員
青木 博子 委員	大沢 たかし 委員	

< 事務局 >

宮内利通生活環境部長

稲垣茂孝生活環境部環境課長

### 【次 第】

1. 開 会

2. 議 事

< 議事 1 > 「北区環境基本計画」の改定について

①環境基本計画における答申案について

3. 閉 会

### 【配布資料一覧】

1. 平成 26 年度 第 2 回 東京都北区環境審議会 次第

2. 東京都北区環境審議会 座席表

3. 東京都北区環境審議会 委員名簿

4. 議事（1）関係

資料1 北区環境基本計画（答申案）

参考資料 1 北区環境基本計画の改定スケジュール

### 【傍聴人】

傍聴人 2 名

## 【議事要旨】

### 1. 開会

### 2. 議事

#### < 議 事 1 >

#### ○委員

議題 1 の「北区環境基本計画の改定について」における環境基本計画における答申案について事務局から説明をお願いする。

#### ○事務局 一資料説明一

#### ○委員

環境基本計画の中に、さまざまな環境配慮指針があるが、区民に対し、具体的にどのような形で周知を図っていくのか。

また、大きなまちづくりと大規模開発という視点として、本計画中の基本目標 3「みんなで目指す低炭素・循環型の北区」の施策の柱の 1 つ「災害時も活用可能なエネルギーシステムの導入」という視点で、マンションや地域の大規模開発の際に、将来的に考えたエネルギーシステムの構築が必要と考えられるが、どのような見解か。

最後に、区民への周知はいろいろな形で記載されているが、子どもたちへの学校教育の中での環境教育の視点として、北区の環境、また地球規模での環境をどのようにして教育していくのかという方針を計画の中に入れていただきたい。

#### ○事務局

周知の方法としては、北区ニュースや様々な広報の機会を捉え、区民にお知らせしていきたい。今回の環境基本計画の策定では、10月にパブリックコメントで区民の意見を公募する。その中で区民が、どのような意見をお持ちなのかを集約し、それを踏まえ、区民に対しどのように周知できるのかを検討していきたい。

まちづくり・開発の視点としては、現状として、環境はまちづくりの中に深く浸透しており、環境を踏まえた開発の計画が出てくると考えられる。また、近年が大きなエネルギーシステムの転換期になると考えており、エネルギー事業者と日頃から意見交換を行っている。エネルギーシステムの開発の機会を含め、環境に関する考え方を事業者に対してお伝えし、環境を踏まえた開発を支えていきたい。

学校教育の中での環境教育の視点を計画の中に入れていただきたいとのことであるが、例えば 13 ページの“施策の方向性”として、「イベントの一斉開催など、区民意識を啓発する仕組みづくり」の中で、施策例「北区学校支援ボランティア活動推進事業の継続」、「子どもの頃からの環

境教育の推進」などを記載している。これまで行っている事業を継続・発展させ、これからも粘り強く取り組んでいきたい。

#### ○委員

環境配慮指針として、区民に伝えるときにはもう少しわかりやすい、明確な、「何とかチャレンジ」のような形で出していただきたい。33万人の区民一人一人に対する具体的な周知方法を検討し、カードやポイントなど、区民が環境に興味・関心をもてる実施方法を検討することが大切ではないか。

また、エネルギーの問題として、事業者に伝えるだけではなく、エネルギーインフラの事業者と北区で共通した視点を持たなければ、災害時も利用可能なエネルギーには結びつかない。エネルギーの視点を地域・住民全体に大きく広げていくためには、環境施策の中で、条例の制定や義務化等により位置づけを明確にする必要がある。

最後に、学校教育の中でもカリキュラムを開発している NPO や教育委員会と積極的に連携を取りながら、学校支援ボランティアだけではなく、具体的な環境教育のカリキュラムを推進していく指針ができれば良い。

#### ○事務局

境基本計画に施策の内容をそのまま書くことは難しいが、施策を展開する中で、委員ご指摘のご期待に添えるよう、取り組んで参りたい。

#### ○委員

環境基本計画における「計画を取り巻く背景」等が本編の中に入っていて、読みにくく、混乱するような状況になっていたが、今回の答申案で参考資料としてまとめていただいたので非常に読みやすく、筋がわかりやすくなった。

#### ○委員

「3.4-1 生物多様性の重要性に対する理解の促進」の環境配慮指針（事業者）のところにある「生物に配慮した樹種の選定に努めます」と「夜間照明の工夫をします」は、「理解」や「場や機会」とはニュアンスが異なる。「3.4-2 地域に密着した緑の保全と創出の仕組みづくり」の生きものに配慮した緑化やガイドラインの作成に含まれるものなので、こちらの環境配慮指針に記載したほうが良い。また、横浜市の京浜工業地帯では工場の敷地の一部にビオトープを作り、そこを限定公開してトンボの調査活動をしたり、あるいは子どもたちに環境学習の場として提供したり、そういった取り組みを行っている例がある。そこで、「生物多様性の重要性に対する理解の促進」の環境配慮指針（事業者）には「事業者の緑地の公開」や「その場を活用した観察会活動」等を記載してほしい。

「3.4-2 地域に密着した緑の保全と創出の仕組みづくり」の「施策例」に「緑化指針の策定」と書いてあるが、緑化指針の普及用パンフレットの作成ではなく、開発の面積が一定以上の場合の緑化計画書を提出する際の指導・誘導の根拠となるものを作るべきである。

また、「景観や虫の増加に配慮した」は「生きものの生息に配慮した」に表現を改めたほうが良い。

○事務局

3.4-1 と 3.4-2 における環境配慮指針（事業者）については、調整をさせていただき、環境配慮指針の転記、「ビオトープを使った観察会」等、文言の調整をさせていただきたい。

また、区では現在、委員のご指摘のイメージに近いものとして、「緑化計画書の作成手引き」に基づいて、300 m<sup>2</sup>以上の開発に対し、指導を行っている。

ご指摘いただいた「景観や虫の増加に配慮した」の表現については調整させていただきたい。

○委員

各取組みそれぞれに「成果と目標」が、ここで挙げたもので測れるか疑問に思う点がある。もう少し「成果と目標」について精査してほしい。また、環境大学事業等では既存の事業を充実させていくことで「継続」や「増加」が目標に挙げられるのは理解できるが、生物多様性の視点には新規の目標を入れたほうがよいのではないか。

○事務局

今後パブリックコメントの実施、会派意見の募集と実施していく。そのなかで「成果と目標」についても精査していきたい。また、指摘いただいた新規の目標等の具体的な意見は、本日に限らず、事務局までお寄せいただきたい。

○委員

「3.3-3 健全な物質循環の確保と循環型社会の構築」の「具体的な目標」はどういう形で出た値なのか、また達成の見込みはどうなのか。

○事務局

ご指摘の目標値は「東京都北区一般廃棄物処理基本計画」にて設定されたものである。北区の現状として「ごみ排出量削減率」も「リサイクル率」もかなり進んではいるが、このところ横ばい状態が続いている。今後の目標値を含め、所管課であるリサイクル清掃課と情報共有していきたい。

○委員

「3.4-2 地域に密着した緑の保全と創出の仕組みづくり」の施策の方向性で、「2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、味の素ナショナルトレーニングセンターをはじめとする練習施設周辺を、区民とともに季節の草花で飾っていく」とあるが、ここだけ場所の特定や具体的な内容の記載になっていておかしく思う。また、この章の文脈であれば、緑の質の改善をどうするのかという流れで来ているので、建物を草花で飾るというような内容は、この章ではなく「北区の環境を育むきずなづくり」のほうが適しているのではないか。

○事務局

確かに「2020年東京オリンピック」と具体的であり、違和感があるかとは思いますが、2020年の東京オリンピックを契機として、世界中から来訪される方々のおもてなしとして、季節の草花で飾り、北区をPRしたいという考えがある。そのため、オリンピック関連の事項を人づくり、すなわち、「北区の環境を育むきずなづくり」のところに記載することは難しいと判断した。

○委員

わかりました。しかし、この章におけるテーマの生物多様性の中では、花屋で売っているような「季節の草花」を植えることが、緑の質の向上には直接結びつかない。そのため、誤解を生む構成にならないよう、気をつけていただきたい。

○事務局

どのような表現がふさわしいか等意見がございましたら、お知恵をいただきたい。

○委員

「エコアクション21」はご承知のように、ISOの日本版としてより普及させるという環境省の意図で発足し、全国で現在8,500件ほど認証されている。また、静岡県では790の事業所が認証取得と、全国でダントツの1位となっている。知事表彰を出すことにより中小企業にも普及してきている背景もある。本計画においても、成果指標の表彰制度等にリンクできれば認証取得数が増加するのではないかと。

また、「緑被率の上昇」については計測機器・情報機器の精度が良くなったことにより緑被率の量が多くなった面もある。その点の誤解が無いように記載していただきたい。

今後のことになるが、開発と環境の関わり合いが重要になってくる。今後の都市開発とはどうあるべきか、エネルギーとの関係はどうあるべきかということ、皆で検討していくような世の中に進んでほしい。本計画にも「まちづくり」や「オリンピック・パラリンピック」のことも含めた事例研究の項目を作成することにより、より良い環境基本計画になるのではないかと。

○事務局

表彰制度について、静岡県の知事表彰の件を含めて今後の課題として研究させていただく。

緑被率に関する疑問については、誤解のないような表現に工夫をさせていただく。

開発やエネルギーの問題に関しても、表現方法等は工夫をさせていただき、事例等の記載について審議会会長と相談し、調整いたしたい。

○委員

文中の図における説明やタイトルは図の下部に、「出典」、「資料」、「注」はその下に記載するのが通例ではないかと。

○事務局

どちらが見やすいかと検討し、この位置としたが、下部のほうが見やすい、または通例として下部ということであれば修正させていただく。

○委員

色合い等見にくい図が散見される。

○事務局

見やすいように改善させていただく。

○委員

図の表記に関連して、たとえばカラーの円グラフは見やすいという利点があるが、モノクロで印刷すると文字が潰れてしまうことがある。今後の広報のためにも、サブとしてモノクロ版をご用意いただくか、モノクロ印刷でも対応できるものをご用意いただきたい。

○事務局

工夫させていただく。

○委員

先ほどの委員の発言の中に、静岡県の 790 事業所が「エコアクション 21」認証を取得しているとあったが、この 790 事業所というのは北区と同じような 10 人未満の小さな事業所とかも多く含まれているのか。

○委員

大きさまざまである。

○委員

北区の場合、小さい事業所が多く、一人一人の負担や役割が非常に大きいため、このようなマネジメントシステムの話をする時、「余裕がない」と言われることが多い。事業者に大きな負担を掛けずに、信頼を深めながら助け合っていけるシステムがあると良いと考える。高い目標だけでは「やっぱり環境って難しいじゃないか」とか「負担が大きいじゃないか」といった形で環境マネジメントシステム自体のイメージが悪くなると懸念される。

○委員

北区環境審議会は、北区ニュースで傍聴の周知があるが、一般区民からどれぐらい応募が来るのか。

○事務局

北区環境審議会については事前申込み制ではなく、定員 20 名の先着順になっている。  
事前申込制でないため、傍聴の希望は受け付けていない。

○委員

電力会社でもスマートメーターの普及等、環境に配慮した事業を行っている。メーカー等でも日進月歩で技術は進んでいる。そういった意味でも、細かい個別の事業を環境基本計画のなかに設定していくというよりは、環境とまちづくり、それぞれの開発に合わせて、大きな視点で、この答申書には書かれていると認識しているが、よろしいか。

○事務局

委員ご指摘のとおりである。

また、環境基本計画は環境を主体とした計画であるため、まちづくりがメインターゲットとはならないが、計画を基準になるものとして、前面に出していきたい。

○委員

デジアナ変換放送の終了によるブラウン管テレビ、ウィンドウズ XP のサポートが終了した古いパソコンなどの廃棄が増えてくるかと思う。北区としてフォロー等検討しているのか。

○事務局

リサイクル清掃課が所管となるが、区民の周知方法等含め情報共有していく。

○委員

環境基本計画は答申案をベースとして新たに書き下ろすものなのか、それとも答申案を骨格として装丁を整えていくのか。

また、パブリックコメントはそのどちらをベースに実施するのか。

○事務局

後者である。この答申案を骨格とし、この形をもって今後 10 年間の北区環境基本計画とする。

パブリックコメントについては本答申案をもって実施したい。また、パブリックコメントの実施結果等の情報については、取りまとめの上、委員の皆様にお伝えいたしたい。

○委員

いろいろとご意見ご質問をいただいたが、本答申案を区長に答申したいが、よろしいか。

— 委員一同同意 —

○委員

それでは、北区環境基本計画答申案により、北区長に答申申し上げます。

○委員

本日の次第はすべて終了した。

これにて平成 26 年度第 2 回東京都北区環境審議会の議事を終了とする。

**3. 閉会**

以上